

平成24年10月 9日

報 告 書

那須塩原市議会議長 君島 一郎 様

那須塩原市議会 第3班班長 東泉 富士夫
記録者 高久 好一
伊藤 豊美

下記のとおり報告会を開催いたしましたので、報告します。

記

1. 日 時 平成24年8月2日（木）午後2時～3時50分

2. 会 場 厚崎公民館

3. 担当議員と役割

【担当議員】

東泉 富士夫（班長）
岡本 真芳（司会・進行）
玉野 宏（3月・6月定例議会審議報告）
磯飛 清（議会活性化検討特別委員会報告）
平山 武（放射能対策検討特別委員会報告）
高久 好一（記録）
伊藤 豊美（記録）

【応援議員】

植木 弘行（受付）、松田 寛人（写真）、金子 哲也（会場）

4. 参 加 者 市民9名（男性9名、女性0名）
参加議員・職員など 22名

5. 主な意見・要望

質疑応答

〈放射能について〉

Q：放射能の対策について報告は羅列的でなく、数字をもっと具体的に出して欲しい。
金沢小学の検査結果どうなったのか。

A：県の行った茨城県東海村での検査結果の報告会では、「全員が検出されなかった。」とのことです。

Q：ホールボディカウンターの購入は市民の安心・安全に向けて長い目で取り組んで欲しい。また、家庭や通学路の除染に向けて、希望する人には周知や業者の紹介はあるのか。

A：9月議会で審議して決めることになっている。

Q：農家の米に対する放射能対策で、市議会が呼んだ先生は、塩化カリの施肥をやらないよう話したそうだが本当か。市や農協では補助金を出しているのに、反対のことを言われて、農家は迷ってしまう。

A：ほぼそう言う内容だった。様々な意見をもった科学者がいるために、慎重的な立場の科学者からの意見を聞く必要もあるものとして、提供した。

Q：福島県では県民に東電から見舞金が出ていると聞いている。本市でも、見舞金を請求してはどうか。

A：回答：参考意見としてお伺いします。

〈議会活性化について〉

Q：議会基本条例と一問一答方式は一方的な答弁になり、反問権を使って質問をはぐらかす答弁になるのではないか。

A：回答：心配はあったが、途中から傍聴に入った人も分かり易くなったと伺っている。
反問権は、まだ一度も使われたことはない。

Q：議員定数をパブリックコメントに頼る方法はパソコンができる人だけになり、意見が偏るのではないか。

A：回答：広報・新聞でも周知した。意見も、郵便封書やファックス、本人持参もあり、計21人からの意見が寄せられた。

Q：議長の選出方法について、ふさわしい人が選出されているか。

A：議会活性化で進めてきた立候補制によって行った。候補者は意見を表明し、各議員から5分ずつ質疑があり、4時間ほど要し、議長・副議長を選出した。

〈議会報告会について〉

Q：報告会は4ヶ所とも同じ報告をするのか。

A：4ヶ所とも同じ報告となる

Q：議会報告会は画期的だ、長く続けて欲しい。

A：(要望のため回答なし)

〈意見交換会について〉

Q：名誉市民の選び方・基準はどうなっているのか。

A：(回答保留)

Q：三本木地区の弥六堀の改修は大田原との境界にあり、時間がかかり進まない状態にある。解決方法ないのか。

A：大田原市との境にあるので、広域行政で取り組む事例になる。これからの地方行政は近隣市町との連携を進めながら、無駄のない効率的な取組みを行っていくことが必要であり、施策の一つには定住自立圏構想というものがある。

Q：転作作物の補償額が大豆・牧草などは高いが、野菜などは安く設定されている。再生会議や農協の説明もハッキリしないどうなっているのか。

A：(回答保留)

Q：震災・原発事故のとき、被災者の受け入れを市民が要望したが、市は断ったと聞いている。受け入れた人数などは掴んでいるか。

A：市の公的施設・高柳の長寿センターで受け入れ、他市町と同じ対応をしている。人数については正確に報告したいので、後日報告としていただきたい。

6．報告会の運営について

○答えられずに、後日答弁扱いにした件は調べて誠実に答える。

○答弁の際の姿勢が座ったままの時と、立って答えた場合があった。統一する必要がある。